

# 清掃職員に対する適正な清掃 手順で作業するための教育

NTT東日本伊豆病院

塩田 美佐代

# 病院概要



## 【許可病床 196床】

一般病床 50床(内科 整形外科 皮膚科)  
精神科病床 46床(精神科:開放型病棟)  
回復期リハビリテーション病棟 100床

## 院内清掃に関する業務

【業務実施者】清掃業者に委託

【スタッフ数】28名(会社管理者除く)

【作業日程】月～土

【感染管理教育】2回／年



写真の掲載には同意をいただいています

# 目標4: 医療関連感染症の防止 環境と器具の清浄化に向けた取り組み

## 【背景】

清掃クルーが、一般ゴミに混入していた注射針による針刺し事故をきっかけに、作業手順を確認したところ、手指衛生やPPEをはじめとした物品の使用方法や清掃手順が不適切であった

## 【目標】

清掃クルーが清掃と感染対策が関連付けられ、適切な清掃手順を理解し実施できるようになる



# 取り組み1

## 作業手順の確認と現状の把握

清掃クルーに同行し作業手順を確認するとともに問題と思われる手順は写真に撮り現状の把握を行った



用具類が整理されていない



手袋を着用せずに作業

## 取り組み2 業務改善

### 業務改善会議を定期的に開催した

#### 【出席者】

清掃委託会社：清掃クルーリーダー・サブリーダー・幹部2～3名

病院側：感染管理認定看護師・感染制御室副室長・事務長

【開催方法】 毎月1～2回 1時間～1時間30分

#### 【検討内容】

1. 業務上の問題点と情報の共有
2. 業務改善が必要な項目の設定
3. 改善策の立案、評価
4. 適正な物品の使用方法



# 問題点の共有

## 清潔と不潔の区分1



写真を用いて、清掃業者幹部およびクルーに対し問題点を提示した

【幹部に対し】

今後の感染管理教育に関する時間の確保と支援を要請した

【清掃クルーに対し】

感染管理教育は、全面協力することを約束し積極的取り組む風土を創るよう要請した

やってはいけないことが理解できました

## 清潔と不潔の区分2



## 取り組み3

# 感染対策と清掃に関する研修会の開催

清掃クルー全員を対象に研修会を開催し、  
感染管理の基本知識と技術指導を行った



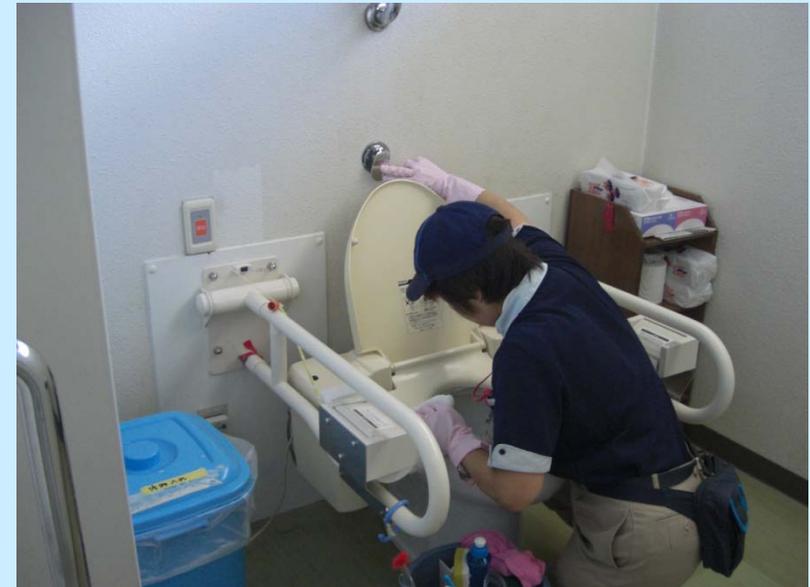
### 【研修内容】

1. 標準予防策
2. 環境清掃と感染予防
3. 適切な病院清掃
4. 手袋の着用の仕方
5. エプロンの付け方

# 取り組み4 清掃マニュアルの作成

問題点を共有し、ともに改善点について話し合い、マニュアルを作成した

## 清掃物品の管理マニュアル



手袋の着用が徹底した

# 成果

1. 作業手順を写真に撮ったことにより、清掃クルーが自らの行動を振り返り、改善が必要な部分を理解することができた。
2. 研修会により、自らの不適切な清掃手順が病院の感染に大きく関与していることが理解できた様子であった。
3. 繰り返しの技術指導により、清掃作業時に適切な手袋の着用ができるようになった。
4. 改善会議により、清掃マニュアルが作成ができ、清潔と不潔な物品の分別管理ができるようになった。

# 考察

- 研修会や改善会議の開催は、相互のコミュニケーションが促進され、積極的に質問や、繰り返しPPE技術に関する指導を求めてくるなど、日常的な疑問点の解決に向けた行動変容に繋がった。
- 清掃クルーに対する教育は座学のみでなく、現状を把握し問題点について共に考え、解決に結び付けられるような直接的な関わりが効果的であった。

# 結語

委託業者である清掃クルーに対し、病院感染教育の機会を提供したことにより、清掃と感染対策が関連付けられ、適切な清掃手順を理解し実施できるようになった



## 今後の予定

- 12月：病院清掃感染管理の病院見学
- 1月：トイレ清掃マニュアルの完成
- 2月：新規導入機材の適正使用研修
- 3月：次年度に向けた取り組み計画